

平成27年度使用

小学校用教科用図書選定のための資料

岩手県教育委員会

調査票 1		種目名 (国語)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	学図(11)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	単元末に「言葉の力」を位置付け、付けたい力を明確にし、基礎的な知識及び技能が身に付くよう配慮されている。	領域の学習に応じてプレ教材や演習教材を位置付け、基礎的な知識及び技能が身に付くよう配慮されている。	学習の系統性を踏まえ、1教材1領域にねらいを焦点化し、基礎的な知識及び技能を確実に身に付くよう配慮されている。	領域の特性を踏まえ、学習の目的を明確にした手引きを位置付け、基礎的な知識及び技能が身に付くよう配慮されている。	単元冒頭に身に付けさせたい力を明確に示し、基礎的な知識及び技能が確実に身に付くよう配慮されている。
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	情報を取捨選択し、表現に生かす言語活動を全ての領域で取り上げ、思考力や表現力を育むことができるよう工夫されている。	発達段階に応じた「学習のてびき」を示し、児童に学び方を身に付けさせ、思考力を重点に育むことができるよう工夫されている。	単元末に「覚えておきましょう」を設け、基礎的な知識及び技能を次の学習に生かすことができるよう工夫されている。	単元目標に基づき、習得した知識及び技能を活用できる言語活動を位置付け、思考力等を育むことができるよう工夫されている。	3領域1事項の関連を図った単元構成により、習得した知識を活用し、表現力等を育むことができるよう工夫されている。
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	各単元において学習のねらいや手順を示し、児童が学習の見通しをもち課題解決的に学習が進められるよう配慮されている。	各単元の「学習のてびき」では学び方や学習の手順を示し、児童が自覚して学びを進められるよう配慮されている。	教材後に、ねらいに即した学習の手順や読書との関連が手引きとして示し、児童が主体的に学習が進められるよう配慮されている。	全学年において関連図書を掲載し、児童が主体的に発展的な読書に取り組むことができるよう配慮されている。	学習内容と言語活動の手順を手引きに示すことで、児童が主体的に学習を進められるよう配慮されている。
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	学年目標を踏まえ、文章を比べて読む活動等が設定されており、主体的で実生活へつながる学習が配慮されている。	学年目標や領域のバランスを踏まえて教材を配列し、目的に合った言語活動に取り組めるよう配慮されている。	日常生活に生きる言語活動の系列に基づいて教材を配列し、計画的・系統的に言語活動に取り組めるよう配慮されている。	学年目標や領域に照らし合わせて教材をバランスよく配列し、課題意識をもって言語活動に取り組めるよう配慮されている。	3領域の学習内容が相互に関連付けられ、実生活を踏まえて偏りなく言語活動に取り組むことができるよう配慮されている。
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	「ひろがる」や「つながる」の欄を設け、他教科等との関連や学習内容の系統性が捉えられるよう配慮されている。	ものの考え方や他教科、他領域の学習に役立つ内容を「国語のカギ」として明記し、活用できるよう配慮されている。	資料集「学びを広げる」において、話し合い活動に役立つ言語活動が取り上げられ、他教科等の学習に生きるよう配慮されている。	他教科、他領域等の学習と関連の深い題材を取り上げ、国語の学習で身に付けた力を活用できるよう配慮されている。	他教科や総合的な学習の時間の様々な分野と関連のある教材・題材を取り上げ、身に付けた力を活用できるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	3領域1事項の6年間の学習を通して、「言葉の力」が確実に積み重ねられるように系統的・段階的に配列されている。	領域内の系統性に加え、演習教材を位置付けて確かな力が身に付くよう横断的・螺旋的に配列されている。	全学年共通の基本的な教材配列で構成し、発達段階を踏まえ系統的に学ぶことができるよう配列されている。	領域ごとの指導事項の関連について、2学年のまとまりで習得した力を発揮しながら反復的な学習ができるよう配列されている。	言葉の力が繰り返し身に付くよう「単元」や「小単元」と「言葉」や「コラム」が関連するよう配列されている。
	2 反復練習など、基礎的な内容を定着させるための配慮について	重点的に定着を図りたい語彙等の事項は、反復できるような学習が取り入れられるように単元の配列が工夫されている。	語彙等の事項は、計画的に取り上げられ、巻末の資料編とともに繰り返し活用できるよう工夫されている。	漢字の取り立て教材、辞典の活用に関する教材を配列し、計画的に繰り返し学ぶことができるよう工夫されている。	語彙指導は教材文中と巻末付録を組み合わせながら、語彙力を高める学習が取り入れられるよう工夫されている。	巻末に「たいせつ」のまとめが掲載され、各学年の基礎的な学習内容の定着が図られるよう工夫されている。

調査票 1		種目名 (国語)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	学図(11)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)
2 組織 配列 分量	3 季節、社会的行事等、地域 の美情との関連付けにつ いて	四季折々の自然や風土、 行事や慣習にかかわる言葉 や詩歌を味わい、豊かな言 語感覚を養えるよう工夫さ れている。	地域や学校行事等とのか かわりの深い題材を取り入 れ、児童の興味・関心を高 めるよう工夫されている。	季節感のある題材や日常 生活とかわる題材等を取り 上げ、児童の興味・関心 を高めるよう工夫されてい る。	地域素材や行事の題材・ 季節に応じた言葉の教材の 配列をし、時宜を得た学習 活動が行えるよう工夫され ている。	季節を感じる言葉や教 材・写真などを掲載し、季 節感を大切にした学習活動 が行えるよう工夫されてい る。
	4 内容と分量のバランスにつ いて	各学年とも3領域1事項の 学習が、年間を通じてバラ ンスよく行えるよう配慮さ れている。	各領域の教材をバランス よく配列し、6学年を通し て実生活に生きる学習がで きるよう配慮されている。	教科書と資料集の2分冊 構成により、個に応じた学 習が効果的に展開できるよ う配慮されている。	3領域1事項の教材がバラ ンスよく配列され、高学年 では発展学習に取り組める よう配慮されている。	発達段階と学習の持続性 を踏まえた単元数、教材数 等バランスよく学習できる よう配慮されている。
3 使用上の 配慮や工 夫	1 分かり易さに配慮した語句 や文章による表現について	巻頭に分かり易い言葉で 学習のねらいと言語活動を 明記し、1年間の学習内容 が理解し易いよう配慮され ている。	表現様式の具体例が分か り易く丁寧な言葉で記載さ れ、児童の表現活動の参考 になるよう配慮されている。	児童にとって分かり易い 言葉を用いて学習の見通し を提示し、学習内容が理解 し易いよう配慮されている。	単元の目標など平易な言 葉で学習の進め方を明記す ることで、学習内容が分か り易くなるよう配慮されて いる。	単元の目標が「付けたい 力」と「言語活動」の両面 から示され、何をどのよう に学ぶのが分かり易くなる よう配慮されている。
	2 分かり易さに配慮した文 字、記号、単位、挿絵、図 版、写真等の表記について	写真や図表を豊富に取り 入れることにより、文章と 結び付けながら学習内容が 理解し易いよう配慮されて いる。	吹き出し等を多用し、学 習内容に関する具体的な解 説を加え、学習のポイント を確認できるよう配慮され ている。	教材文と挿絵・写真・図 表などの情報を関連させる ことで、具体的に学習内容 が理解し易いよう配慮され ている。	写真や挿絵、吹き出しを 位置付け、学習内容が具体 的にイメージでき、理解の 助けになるよう配慮されて いる。	イメージを豊かに広げる 挿絵や写真を効果的に取り 入れながら、学習内容の理 解を助けるよう配慮されて いる。
	3 目次、索引、注、凡例、譜 表、出典等の使い易さへの 配慮について	巻末に「言葉の広場」を 掲載し、児童が言葉に対し て関心をもち続けられるよ う配慮されている。	教科書の使い方につい て、凡例や用いている印等 を掲載し、児童が使い易い よう配慮されている。	巻頭に各教材の学習のね らいと振り返り記入欄を掲 載し、学びの成果を自覚で きるよう配慮されている。	各巻の付録に3領域1事項 の学習事項や用語を精選し て掲載し、児童が活用し易 いよう配慮されている。	1年間の学習の見通しや 振り返り、既習事項を掲載 し、児童が学習を進め易い よう配慮されている。
	総合 所見	学習のねらいを明確に し、系統性を踏まえた言語 活動を配列する等、実生活 に必要な言葉の力が身に付 くよう工夫されている。ま た、児童が見通しをもち学 びの実感を味わえるよう、 学習の手順や学び方が丁寧 に示され、主体的に学習に 取り組むことができるよう 配慮されている。	発達段階に合わせて読む 力と思考力の育成に重点を 置いた言語活動を位置付 け、確かな言葉の力が身に 付くよう工夫されている。ま た、領域や教材に即して 国語の学び方を獲得しなが ら児童が読む力を身に付 け、自覚しながら学習を進 められるよう配慮されてい る。	教科書「国語」では1教 材1領域にねらいを焦点化 し、基本的な学習内容を学 び、資料集「学びを広げ る」では、児童がより探究 的な学習が展開できるよう 工夫されている。また、読 書生活につながるよう豊富 な資料を掲載し、主体的な 学習が充実するよう配慮さ れている。	3領域1事項の系統性を大 切にするとともに学習のね らいを焦点化し、基本的な 学習内容の定着及び全学年 で読書力の育成が図られる よう工夫されている。ま た、学習内容や学習過程を 丁寧に提示し、索引を活用 しながら主体的に学習が進 められるよう配慮されてい る。	6年間の学習内容が系統 的に網羅され、多様な言語 活動を配列し、学習を通し て必要な言葉の力の定着が 図られるよう工夫されてい る。また、学習の目標や学 習の手順を具体的に示し、 児童が言葉と積極的にわか わり、学習する楽しさを味 わえるよう配慮されてい る。

調査票 1	種目名 (書写)							
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	学図(11)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	日文(116)	
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	具体的な学習課題を設定し、基礎的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。	技能獲得に必要な重点を解説し、基礎的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。	発達段階を考慮し、導入を丁寧に扱い、基礎的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。	明解な図版を用いて要点を説明し、基礎的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。	学習事項を書き込む欄を充実させ、基礎的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。	単元のねらいを焦点化し、基礎的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。
	2	児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	習得した書写の原理・原則を、ほかの文字に応用する学習活動が取り上げられている。	学びが広がる資料を紹介し、自分で考えて表現する学習活動が取り上げられている。	読みやすい文字の書き方を考え、実際に書いて確かめる学習活動が取り上げられている。	学習課題を選択する教材を設け、その解決に向けて練習する学習活動が取り上げられている。	国語の教科書との関連教材を設定し、日常生活に広げられる学習活動が取り上げられている。	毛筆教材の後に、同じねらいをもった硬筆教材を扱う学習活動が取り上げられている。
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	既習事項を確認できるインデックスを設け、主体的に学習できるよう工夫されている。	練習用紙を自分で選択できる課題を提示し、主体的に学習できるよう工夫されている。	児童の思考を促す言葉やイラストで課題を明示し、主体的に学習できるよう工夫されている。	キャラクターの吹き出しで学習活動を促し、主体的に学習できるよう工夫されている。	活動を通して体感的に理解できる教材を設定し、主体的に学習できるよう工夫されている。	学習の流れを具体的に提示することで、主体的に学習できるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	「書くこと」領域と関連させ、出来事や学校生活を話題にした手紙や新聞の書き方について意見を交流する等、言語活動を位置付けて学習するよう工夫されている。	「書くこと」領域と関連させ、実用的な場面を想定した手紙やポスターの書き方について意見を交流する等、言語活動を位置付けて学習するよう工夫されている。	「書くこと」領域と関連させ、用紙の目的に応じた学級日記や寄せ書きの書き方について意見を交流する等、言語活動を位置付けて学習するよう工夫されている。	「書くこと」領域と関連させ、伝えることを目的にした手紙や図書カードの書き方について意見を交流する等、言語活動を位置付けて学習するよう工夫されている。	「話すこと・聞くこと」や「書くこと」領域と関連させ、手紙やメモの書き方について意見を交流する等、言語活動を位置付けて学習するよう工夫されている。	「書くこと」領域と関連させ、読み合うことを目的にした報告文や随筆の書き方について意見を交流する等、言語活動を位置付けて学習するよう工夫されている。
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	社会や算数、理科、生活科、家庭科等、ノートの書き方について他教科と関連した題材が全学年に取り上げられている。	生活科の観察カード、社会や算数のノートの書き方、メモの取り方等、他教科と関連した題材が取り上げられている。	社会科見学におけるレポートの書き方、図工のポスターの効果的書き方等、他教科と関連した題材が取り上げられている。	社会や算数、理科でのノートの書き方、学習活動での発表資料の書き方等、他教科と関連した題材が取り上げられている。	社会や算数、生活科のノートの書き方、社会科見学でのメモの取り方等、他教科と関連した題材が取り上げられている。	ノートやカード、連絡帳や案内状の書き方やメモの取り方等、他教科や特別活動と関連した題材が取り上げられている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連について	基礎的基本的な内容を関連付けながら学習し、技能の習熟・定着が図られるよう構成が工夫されている。	基礎的基本的な内容を系統的に配列し、技能の定着が図られるよう構成が工夫されている。	習得した基礎的基本的な内容が、日常生活や他教科に生かされるよう構成が工夫されている。	基礎的基本的な内容を系統的に繰り返し学習し、技能の定着が図られるよう構成が工夫されている。	基礎的基本的な内容を同じ学習過程で学習し、技能の定着が図られるよう構成が工夫されている。	基礎的基本的な内容を年間を見通して学習し、技能の定着が図られるよう構成が工夫されている。
	2	反復練習等、基礎的基本的な内容を定着させるための配慮について	学習内容の関連付けや既習事項の確認により、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。	毛筆で学習したことを硬筆で確かめることにより、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。	書き込み欄を多く設定し、繰り返しの練習で、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。	学習内容を示し、なぞり書きや書き込みにより、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。	注意点を示し、なぞり書きや書き込みにより、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。	毛筆の学習を同じ要素をもつ硬筆の文字に広げ、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。

調査票 1	種目名 (書写)		東書(2)	学図(11)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	日文(116)	
2 組織 配列 分量	3	季節、社会的行事等、地域の 実情との関連付けについて	短歌、年賀状、書き初め、卒業に向けた作品等、季節と関連付け、興味・関心を高めるよう工夫されている。	書き初め、俳句、行事の案内、卒業作品等を取り上げ、季節と関連付け、日常生活へ生かすことができるよう工夫されている。	年賀状、書き初め、俳句を短冊に書く活動等を取り上げ、季節と関連付け、日常生活へ生かすことができるよう工夫されている。	書き初め、年賀状、俳句、集会案内等を取り上げ、季節と関連付け、日常生活へ生かすことができるよう工夫されている。	書き初め、俳句、四季を表す言葉を取り上げ、季節と関連付け、ふさわしい文字への意識を高めるよう工夫されている。	年賀状、書き初め、俳句・短歌等を取り上げ、季節と関連付け、ふさわしい文字への意識を高めるよう工夫されている。	
		4	内容と分量のバランスについて	学習内容が精選・焦点化され、簡潔に説明されており、効果的に学習できるよう配慮されている。	精選した学習内容を同じ学習の流れにすることで、無理なく学習できるよう配慮されている。	硬筆と毛筆の学習の特性を関連させることで、効果的に学習できるよう配慮されている。	各時間のねらいが精選され、授業時間内で確実に学習ができるよう配慮されている。	ねらいが達成できるように1教材1目標とし、効果的に学習できるよう配慮されている。	学習内容と教材の精選を図ることで、授業時間内に無理なく学習できるよう配慮されている。
3 使用上の 配慮や工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	親しみやすく簡潔な文章で、擬音語や吹き出しを効果的に用い、児童に分かり易く説明されている。	キャラクターによる吹き出しを効果的に活用し、学習のポイントが児童に分かり易く説明されている。	簡潔な言葉やイラストを効果的に用い、文字を整える原理原則が児童に分かり易く説明されている。	学習のポイントをキャラクターによる吹き出しで簡潔に表現し、児童に分かり易く説明されている。	平易で親しみ易い言葉や文章で表現し、学習のポイントが児童に分かり易く説明されている。	書写で使う用語を簡潔な文章で示すことで、学習内容が児童に分かり易く説明されている。	
		2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	教材の解説写真は、筆使いが簡明で色も効果的に使い、視覚的に理解し易いよう工夫されている。	毛筆教材は、作品の大きさや配列を実物に近づけることで、視覚的に捉え易いよう工夫されている。	例示された文字から課題を見付けることで、学習のポイントを理解し易いよう工夫されている。	筆の動きや点画の接し方を2色の墨や補助線等で示し、視覚的に理解し易いよう工夫されている。	分かり易く写真や図を大きく示し、学習内容が焦点化され、児童が分かり易いよう工夫されている。	毛筆文字は、筆使いと穂先の動き方の違いを色を変えて提示し、児童が分かり易いよう工夫されている。
		3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	見開きで目次を構成し、関心意欲を高め、学習の見通しをもたせることができるよう配慮されている。	譜表に、当該学年で学習する全ての漢字が示され、筆順や字形を確かめ易いよう配慮されている。	譜表に、当該学年と前学年の漢字が示され、筆順や字形を確かめ易いよう配慮されている。	譜表に、良い姿勢の写真や「よいしせいのあいことば」が示され、行動化を促すよう配慮されている。	目次にマークを示すことで学習内容が一目で分かるようになっており、使い易いよう配慮されている。	目次に、学習のめあて、マークが記され、学習の見通しをもてるよう配慮されている。
	総合所見		教材の基礎的・基本的な内容を関連付け、既習事項をふまえて学習できる構成になっている。また、簡潔な表現を用いることで、学習内容を理解し易いよう配慮されている。	基礎的・基本的な内容を身に付ける学習過程を示し、技能の定着が図られる構成になっている。また、課題の提示を工夫し、主体的に学習が進められるよう配慮されている。	書き込み欄が豊富に盛り込まれ、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くよう構成されている。また、課題を提示し、主体的に学習が進められるよう配慮されている。	写真や図が効果的に使われ、知識及び技能が分かり易い構成になっている。また、発達段階に応じて、他教科の学習や日常生活に活用できるよう配慮されている。	写真や図を用いて、視覚的に基本的な技能を捉えられる構成になっている。また、学習のポイントを整理して示し、知識及び技能を習得できるよう配慮されている。	学習内容を精選し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるよう工夫されている。また、学年のめあてを示し、年間の見通しをもって学習が進められるよう配慮されている。	

調査票1		種目名 (社会)				
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	教出 (17)	光村 (38)	日文 (116)	()
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	重要語句を明示した「ことば」と、学習技能を系統的に示した「学び方コーナー」を設定することにより、基礎的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。	学習内容を整理する「まとめ」と、問題解決に必要な学習技能を示した、「学びのてびき」を設定することにより、基礎的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。	重要語句を解説した「ことば」と、学習技能について整理して示した「たいせつ」を設定することにより、基礎的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。	用語について説明した「キーワード」と、学習技能を分類して示した「学び方・調べ方コーナー」を設定することにより、基礎的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。	
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	小単元末の「まとめる」の段階では、多様な言語活動を設定することにより、思考力や表現力等を育むよう工夫されている。	学習の流れに即して多様な言語活動の場面を設けることにより、事象について考え表現する力を育むよう工夫されている。	キャラクターの吹き出しで資料の見方や考え方の視点を示すことにより、事象について考え表現する力を育むよう工夫されている。	「考えるヒント」では、資料を読み取って考えるための視点を提示し、思考力や表現力等を育むよう工夫されている。	
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	「学習の進め方」「学習計画を立てる」を設けることにより、見通しをもち主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	単元や一単位時間ごとの学習の進め方を示すことにより、見通しをもって問題の追究を行えるよう工夫されている。	小単元の構成をホップ・ステップ・ジャンプの三段階で示し、主体的に問題を追究することができるよう工夫されている。	本時から次時への問題解決のつながりを、分かりやすく提示することにより、主体的に追究活動を行えるよう工夫されている。	
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	各小単元において、単元の学習問題に対応した振り返りの活動が設定され、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	各小単元において、キーワードを基に学んだことを整理する活動が設定され、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	学習の各過程で話し合い活動が重視され、互いの考えを深め合う言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	各小単元において、発達段階に応じた多様なまとめの活動が例示され、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。	
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	主教材に関連した学習の深化を促す「ひろげる」により、社会的事象を多面的・多角的に捉えられるよう配慮されている。	防災や震災からの復興・復興の様子について取り上げ、総合的な学習の時間等へ発展するよう配慮されている。	学習方法のヒントを示した「たいせつ」により、学んだことが他の教科や生活の中でも役立てられるよう配慮されている。	各単元末に、総合的な学習の時間等へ発展できる学習内容を位置付け、学習を更に深め、高められるよう配慮されている。	
2 組織配分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	選択教材や、発展・補充等の柔軟な扱いが可能な特設教材により、学習の広がりが見られるよう工夫されている。	単元間のつながりや系統性を重視し、自らの問題意識や学習意欲を持続しながら追究できるよう工夫されている。	5・6年は一巻の構成であり、一年間の見通しをもちながら、各単元の比較や関連付けができるよう工夫されている。	人権・福祉や防災・安全に関わる内容を重点的に取り上げ、社会的な課題について考えを深められるよう工夫されている。	
	2 反復練習など、基礎的な内容を定着させるための配慮について	基礎・基本となる学習事項を「ことば」として提示するとともに、小単元末の「まとめる」で取り上げ定着が図られるよう工夫されている。	基礎・基本となる学習事項を「キーワード」として提示するとともに、小単元末の「まとめる」で取り上げ定着が図られるよう工夫されている。	基礎・基本となる学習事項を「ことば」として提示するとともに、キャラクターの吹き出しにより定着が図られるよう工夫されている。	基礎・基本となる学習事項を「キーワード」として提示するとともに、学習問題に対するまとめの文を提示し定着が図られるよう工夫されている。	

調査票1	種目名 (社会)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	光村(38)	日文(116)	()
2 組織 配列 分量	3	季節、社会的行事等、地域の 実情との関連付けについて	東日本大震災や平泉の文化遺産、滝沢市の見守りシステム等を取り上げ、身近な事象として追究できるよう配慮されている。	東日本大震災や盛岡の四季の様子、平泉の文化遺産等を取り上げ、身近な事象として追究できるよう配慮されている。	東日本大震災の事例を情報と国土の単元の二か所で取り上げ、身近な事象として追究できるよう配慮されている。	東日本大震災の事例や盛岡の四季の様子等を取り上げ、身近な事象として追究できるよう配慮されている。
	4	内容と分量のバランスについて	資料を豊富に掲載するとともに、資料と本文を区別して配置し、読み取り易くなるよう工夫されている。	中心となる写真や絵画等の資料を大きく配置することで、読み取り易くなるよう工夫されている。	資料を厳選するとともに、資料を大きく掲載することにより、読み取り易くなるよう工夫されている。	中心となる資料を上段に、本文を下段に配置することで、読み取り易くなるよう工夫されている。
3 使用上の 配慮や工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	学習問題を枠囲みしたり読み易く改行したりすることで、的確に文章を読み取れるよう工夫されている。	キャラクターの吹き出しを豊富に掲載し、学習の視点や方向性が分かり易くなるよう工夫されている。	重要語句以外にも難解な語句の解説を掲載し、児童が学習内容を理解し易くなるよう工夫されている。	学習の振り返りにキャラクターを用い、丁寧な文章表現から学習内容を理解できるよう工夫されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	資料のネームに番号をつけ、どの資料に注目すればよいのか分かり易くなるよう配慮されている。	資料のネームに記号をつけ、どの資料に注目すればよいのか分かり易くなるよう配慮されている。	歴史上の人物の業績や図版・写真の解説が詳細に記述され、内容が理解し易くなるよう配慮されている。	巻頭に地図と歴史区分を掲載し、地理的位置や時代の流れを捉えながら学習できるよう配慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	巻末に「ことば」、地名、人名の索引を掲載し、児童が調べたりまとめたりするのに使い易くなるよう配慮されている。	巻末に索引とともに地図検索を掲載し、児童が学習の振り返りや整理等に活用し易くなるよう配慮されている。	単元の構成・配列が一目で分かるように簡潔に目次を示すことにより、児童が使い易くなるよう配慮されている。	巻末に年表と併せて作業ページを掲載し、児童が学習の振り返りや整理等に活用し易くなるよう配慮されている。
総合所見		学習の段階が明確に示され、問題解決的な学習を効果的に展開できるよう工夫されている。また、追究の段階に応じて多様な言語活動が設定され、思考力、判断力、表現力を育むよう配慮されている。	問題解決的な学習の進め方を身に付けながら、社会への理解や考えを深めるよう工夫されている。また、自分と社会とのかかわりについて考え、社会参画の意識や態度を育むよう配慮されている。	学習内容を精選し、基礎的・基本的な知識や技能の習得と活用が確実に入るよう工夫されている。また、5・6年は一巻の構成であり、既習事項を関連させながら学習を進められるよう配慮されている。	学び方や調べ方を具体的に提示し、主体的に問題を追究することができるよう工夫されている。また、学習の振り返りにより、社会に参画しようとする資質や態度を育成するよう配慮されている。	

調査票1		種目名 (地図)				
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	帝国 (46)	()	()	()
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	イラストを交えた解説や読図の手掛かりが掲載され、基礎的な読図の技能や活用法が身に付くよう工夫されている。	地図の成り立ちや活用の視点が掲載され、地図に関する知識や基礎的な読図の技能が身に付くよう工夫されている。			
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	様々な視点から見た多様な地図の掲載や地球儀を用いた作業学習の例示等により、地図活用や社会科の諸能力が育まれるよう配慮されている。	地図を用いた作業と思考を促す表記や「防災マップ」づくりの例示等により、地図活用や社会科の諸能力が育まれるよう配慮されている。			
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	絵図や写真が豊富に掲載され、索引にチェック欄や「マイ・インデックス」の欄を設けたりする等、主体的な学習ができるよう配慮されている。	キャラクターを用いて読図の方法や視点を示したり、地図の活用法をイラストで示したりする等、主体的な学習ができるよう配慮されている。			
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	社会科の学習内容に即して、地図や統計資料を用いた活動例を示す等、教科学習の充実が図られるよう配慮されている。	社会科の学習内容に即して、地図を用いた活動の具体例を示す等、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。			
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	スポーツや生活に関する身近なテーマを取り上げたり、防災に関する資料を掲載したりする等、他教科等での活用が図られるよう工夫されている。	各地の文化や行事、防災に関するテーマを取り上げたり、歴史学習との関連を図ったりする等、多様な学習ができるよう工夫されている。			
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連について	児童の興味・関心や発達段階を考慮した構成が図られているとともに、情報が精選され積極的に地図が活用されるよう配慮されている。	児童の興味・関心や発達段階を考慮した構成が図られているとともに、多様な情報を掲載し国土や異文化を一層理解できるよう配慮されている。			
	2 反復練習など、基礎的基本的な内容を定着させるための配慮について	各頁に、地図記号の意味を自力で調べられるよう示されており、基礎的基本的な内容の定着が図られるよう工夫されている。	各頁に、読図のポイントがキャラクターにより示されており、基礎的基本的な内容の定着が図られるよう工夫されている。			

調査票 1 種目名 (地図)		東書 (2)	帝国 (46)	()	()	()
観点	項目・発行者名 (番号)					
2 組織 配列 分量	3 季節、社会的行事等、地域の 実情との関連付けについて	大きく鮮明な写真や解説 を用い、各地の諸行事が示 される等、地域への関心を 高められるよう配慮されて いる。	地域の様々な情報や合併 前の市町村名が掲載される 等、地域についての学習に 対応できるよう配慮されて いる。			
	4 内容と分量のバランスにつ いて	地図への興味・関心を高 め、様々な場面で活用し易 いよう、一般図と主題図、 資料等の内容と分量のバラ ンスが配慮されている。	地図活用の技能を高め、 学習の深化や関連が図られ るよう、一般図と主題図、 資料等の内容と分量のバラ ンスが配慮されている。			
3 使用上の 配慮や工 夫	1 分かり易さに配慮した語句 や文章による表現について	図や写真の説明等が文節 の区切りで改行されており、 平易な敬体を用いる 等、文章の読み易さに配慮 されている。	図や写真の説明等が平易 な短文で、全ての地名にふ り仮名を付記する等、語句 や文の読み易さに配慮され ている。			
	2 分かり易さに配慮した文 字、記号、単位、挿絵、図 版、写真等の表記について	大判の写真を用いたり、 大きく太い文字や記号、イ ラストを使用したりする 等、見やすさに配慮されて いる。	多様な写真を用い、地図 を色分けしたり、グラフを 分割して表示したりする 等、見やすさに配慮されて いる。			
	3 目次、索引、注、凡例、譜 表、出典等の使い易さへの 配慮について	紙面が大判で、目次や索 引の字体を大きくしたり、 確認欄や絵記号を付したり する等、調べ易さに配慮さ れている。	索引に全市町村の読み方 を示したり、統計と関連し たページを示したりする 等、調べ易さに配慮されて いる。			
	総合 所見	精選された資料の掲載に より、見やすさや使い易さ に配慮し、地図学習への興 味・関心を高め、社会科学 学習の充実や発展が図られ よう工夫されている。	多様な情報の掲載によ り、学習の関連性や発展性 に配慮し、国土理解や異文 化への関心を高め、社会科 学習の充実や発展が図られ よう工夫されている。			

調査票1		種目名 (算数)					
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	大日本 (4)	学図 (11)	教出 (17)	啓林館 (61)	日文 (116)
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	学習過程を明確にするとともに、見通しや振り返りを自分自身でできるようにし、基礎的な知識及び技能の習得を図ることができるよう配慮されている。	全学年一冊の合本とすることにより、当該学年の学習内容の関連付けを容易にし、基礎的な知識及び技能の習得を図ることができるよう配慮されている。	日常生活に関連した導入による既習の想起や単元末の定着の確認欄の設定等、基礎的な知識及び技能の習得を図ることができるよう配慮されている。	作図の技能等をくり返し取り上げたり、学びのつながりを示したりする等、基礎的な知識及び技能の習得を図ることができるよう配慮されている。	単元前に既習事項を自分で確認する頁を設定し、児童に自主的な学習を促すことで、基礎的な知識及び技能の習得を図ることができるよう配慮されている。	学力調査に関係のある問題を取り上げ、単元の学習内容を確認したりする頁を設け、基礎的な知識及び技能の習得を図ることができるよう配慮されている。
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	他者の表現を解釈したり、問題解決に生かしたりする活動を充実させ、思考力や表現力を育むよう配慮されている。	図や資料等を用いて考える力を高めるための特設頁を設けることで、思考力や表現力を育むよう配慮されている。	帰納・演繹・類推の数学的な考え方を活用し易くすることで、思考力や表現力を育むよう配慮されている。	単元末や学年末に、学んだことを用いて考える問題を位置付け、思考力や表現力を育むよう配慮されている。	テープ図や数直線図等を用いて問題を解決する場を充実させ、思考力や表現力を育むよう配慮されている。	文章、図、式を関連させながら問題を解決する場を充実させ、思考力や表現力を育むよう配慮されている。
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	単元の導入に見通しをもたせる問題を提示し、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	学習の見通しや発展につながる問いを用意し、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	身の周りの算数的事象を単元の導入に用意し、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	各単元に疑問を生む体験的活動を用意し、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	単元全体を見通した学習のめあて等を明示し、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。	側注に学習の進め方や手順、着眼点等を示し、主体的に学習に取り組む態度を養うよう配慮されている。
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	考えや理由を説明する場面を多様に設定し、言語活動を充実させるよう配慮されている。	学習したことを振り返り表現する場を位置付け、言語活動を充実させるよう配慮されている。	学習内容と関連付けて説明のための文型を示し、言語活動を充実させるよう配慮されている。	発問の内容や問題提示の仕方を工夫し、言語活動を充実させるよう配慮されている。	思考したことを書いたり説明したりする例を示し、言語活動を充実させるよう配慮されている。	理由や方法を説明する問題を位置付け、言語活動を充実させるよう配慮されている。
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	単元の導入で生活科や社会科の学習を想起させ、興味をもって学習できるように配慮されている。	学んだことを生かして、体育科や家庭科、特別活動等の学習にも広がりをもてるよう配慮されている。	単元の導入で、理科や体育科で学習した内容を扱い、意欲的に学習できるように配慮されている。	ハチマ栽培、常用漢字の学習等を扱い、他教科とのつながりが意識できるように配慮されている。	観察日記やレポート、職業との関連等を扱い、活用を意識できるように配慮されている。	学習内容が他の教科等で活用されている題材を扱い、算数に興味をもてるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	絵やテープ図、数直線図が有効に活用できるように、学年に応じて段階的に配列されている。	児童が身の回りの生活と関連させながら学習することができるよう構成されている。	「倍の計算」として、割合を系統的にまとめ、児童が理解できるように配列されている。	各単元の終わりに「まとめ」を位置付け、基礎的な知識が定着されるよう構成されている。	児童が学習したことを生かし、様々な資料から必要な情報を選択して解決できるように構成されている。	学習するために必要な内容を単元の初めに位置付け、系統的な学習ができるように構成されている。
	2 反復練習など、基礎的な内容を定着させるための配慮について	単元の学習に必要な既習事項を効果的に配置し、基礎的な内容を定着させるための配慮がなされている。	復習する箇所を明確にした練習問題を用意し、基礎的な内容を定着させるための配慮がなされている。	ねらいの異なる練習問題を巻末に3種類用意し、基礎的な内容を定着させるための配慮がなされている。	単元末、巻末ともに練習問題は習熟度別に2種類用意し、基礎的な内容を定着させるための配慮がなされている。	様々な内容の単元末復習問題や複数回取り組む巻末問題集等、基礎的な内容を定着させるための配慮がなされている。	単元ごとや2単元ごとに、また巻末に復習問題を多く設定し、基礎的な内容を定着させるための配慮がなされている。

調査票 1	種目名 (算数)							
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	大日本 (4)	学図 (11)	教出 (17)	啓林館 (61)	日文 (116)	
2 組織 配列 分量	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	環境や防災に関する統計資料を読み取る活動を通して、社会に目を向けながら学習を進められるよう配慮されている。	地域の活動や伝統文化、行事、自然等を題材に取り入れ、地域を意識しながら学習を進められるよう配慮されている。	学習内容と関連した地域の自然や建造物、伝統文化等の写真を掲載し、日常生活との関連が図られるよう配慮されている。	環境、防災、国際理解等にかかわる身近な題材を取り入れ、社会に目を向けながら学習を進められるよう配慮されている。	環境や防災に関する題材を取り入れ、話し合い活動を行うことで、社会に目を向けながら学習を進められるよう配慮されている。	学習したことを生活に生かす活動を積極的に取り入れ、日常生活との関連が図られるよう配慮されている。
	4	内容と分量のバランスについて	主体的な取り組みを通して基本的な内容の習得と活用ができるよう内容と分量が配慮されている。	内容を厳選することにより、復習問題等に主体的に取り組めるよう配慮されている。	内容と分量のバランスを取り、小中連携にかかわる別冊の問題集に取り組めるよう配慮されている。	学年末に基本的な内容を活用する問題に取り組めるよう内容と分量が配慮されている。	授業時間外に扱える題材を用意し、実態に応じて取り組めるよう内容と分量が配慮されている。	実態に応じて取り組める課題を豊富に設定し、主体的に学べるよう内容と分量が配慮されている。
3 使用上の 配慮や工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	まとめに具体例や吹き出し等を付け加え、意味を分かり易くするよう配慮されている。	キャラクターの吹き出しの語尾を工夫し、児童に考えるきっかけを与えるよう配慮されている。	問題の取り組み方やヒントを示し、解決の方向性を見出すことができるよう配慮されている。	低学年では、問題場面を短文で表現し、内容が理解し易いよう配慮されている。	図や式、文章を用いた説明を示し、解決の方向性が分かるよう配慮されている。	学習活動を一言で示し、児童が目的をもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真などの表記について	説明、まとめ、学習の手がかり等を色分けして困むことで、学習のポイントが見やすいよう配慮されている。	日常生活における作業的・体験的活動の写真や挿絵を取り入れることで、問題の場면을捉え易いよう配慮されている。	大判のイラストや写真を多く取り入れることで、問題の場面や作業の進め方等を理解し易いよう配慮されている。	学習活動のねらい別に文字や囲み枠の色を変えて記述することで、学習活動を把握し易いよう配慮されている。	半透明な図と数字を重ねたり、動きがイメージできる図を用いたりすることで、学習内容を理解し易いよう配慮されている。	考えの説明部分や重要語句を色付きの枠囲みにして示すことで、大切な箇所が見つけ易いよう配慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	学習内容の系統性が分かる目次により、学習を見通したり、振り返ったりできるよう配慮されている。	索引や、中心発問の表示の仕方を工夫し、大切なことを見つけ易いよう配慮されている。	教科書の右上に単元名を表示することにより、学習が進め易いよう配慮されている。	重要語句について説明する脚注を設け、概念について理解し易いよう配慮されている。	巻末に重要語句などを整理し、基本的な内容を自身で確認できるよう配慮されている。	巻頭に前学年の学習内容を整理し、既習事項を活用し易いように配慮されている。
総合所見			数直線図を問題解決の手段として有効に活用できるよう数直線図作成の過程を丁寧に扱い、主体的に学習に取り組める工夫がされている。また、考えやその根拠を説明する場を多様に設定したり、他者の表現を解釈し、問題解決に生かしたりする活動を充実させ、思考力や表現力を育むよう配慮されている。	全学年を各1冊の合本としたり、索引を見やすく表示したりする等、学年の学習内容をいつでも振り返ることができるよう配慮されている。また、様々な観点で学習を振り返らせたり、今後の学習に見通しをもたせたりする等、問いかけを意図的に設定し、主体的な学習が行われるよう配慮されている。	大判のイラストや写真を用いて日常生活に関連した導入をすることで、主体的に学び基礎的基本的な内容が習得できるよう配慮されている。また、帰納・演繹・類推という数学的な考え方を巻頭に示し、説明のための文型を学習内容と関連付けて示したりする等、思考力や表現力を育むよう配慮されている。	生活と関連の深い題材を扱い、活動から生まれる疑問を学習に結び付ける導入をする等、課題意識をもって主体的に学べるよう配慮されている。また、学習したことを活用する問題を各単元に位置付け、随所に統合的、発展的な見方を育てる話題を取り上げ、思考力や表現力を育むよう配慮されている。	問題の場면을テープ図や数直線図、関係図に表すことができるように、手順を段階的に示し、問題解決の手段として活用することができるよう工夫されている。また、思考したことを書いたり説明したりする例をノート形式で示し、その例を活用させることで、言語活動が充実するよう配慮されている。	単元末や巻末に、反復練習や学力調査にかかわりのある問題を位置付け、基礎的基本的な内容が習得されるよう配慮されている。また、教科書の側注に、学習の進め方や算数的活動を促す言葉を記述したり、理由や方法を説明する問題を位置付けたりする等、思考を深めることができるよう配慮されている。

調査票1		種目名(理科)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	信教(26)	啓林館(61)
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	観察・実験の手順や器具をまとめて示すとともに、巻末で器具の操作方法を具体的に確認できるように配慮されている。	何度も使用する器具の操作方法を折り込みに掲載し、確認しながら適切に観察・実験ができるように配慮されている。	科学的な言葉を確認するために「大事な言葉」を設けるとともに、ノート例で問題解決的な学習ができるように配慮されている。	単元の中で既習事項を確認するとともに、習得すべき知識を「わかった」マークで明確になるよう配慮されている。	観察・実験の手順を端的に表現し、写真等を活用しながら、確実に行うことができるように配慮されている。	子どものノート例を示した「まとめよう」を設けることで、科学的な言葉や概念を確実に習得できるように配慮されている。
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	「説明しよう」「かんがえよう」を設け、習得した知識を活用して説明させ、思考力、表現力を育むように配慮されている。	科学的な言葉や概念を用いて説明させる場面を設定することで、思考力、表現力を育むように配慮されている。	視点に沿った考察や、単元末で習得した知識を活用した説明をすることにより、思考力、表現力を育むように配慮されている。	科学的な言葉を用いて自然現象を説明する問題を設定することにより、思考力、表現力を育むように配慮されている。	「考えてみよう」で吹き出しに示された視点について考えることにより、思考力、表現力を育むように配慮されている。	単元末や別冊において、自分の考えを表現する活動を行うことで、思考力、表現力を育むように配慮されている。
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	単元導入時に身近な事象を提示し、既習事項とかかわらせながら、興味・関心をもたせ、問題意識を高めるように配慮されている。	単元導入時に身近な事象を提示し、既習事項とかかわらせながら、興味・関心をもたせ、問題意識を高めるように配慮されている。	単元導入時に学習の流れを示し、見通しをもたせるとともに、身近な事象を提示し問題意識を高めるように配慮されている。	学習のきっかけとなる「やってみよう」を設け、共通の体験から自ら問題を見いだすことができるように配慮されている。	問題を見いだす場面で問いかけにより学習問題を提示することで、児童の意欲を高めるように配慮されている。	単元導入時に「学習のめあて」を明示することで、目的意識をもって学習に取り組むことができるように配慮されている。
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	各学年で重視される解決のための視点にかかわる問いかけや思考場面を設け、問題解決的な学習ができるように配慮されている。	巻頭において当該学年で重視される解決のための視点を示し、学年に応じた問題解決的な学習ができるように配慮されている。	巻頭で当該学年や前学年までの解決のための視点を示し、学年に応じた問題解決的な学習ができるように配慮されている。	各学年において育む問題解決の能力が確実に身に付くように、ノート記録を中心に学習活動ができるように配慮されている。	単元の各所において、記録の仕方のモデルを示すことで、問題解決的な学習の過程を確かなものにするように配慮されている。	「学習の進め方」や「科学の目で見てみよう」を設定することで、問題解決の能力を育むように配慮されている。
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	「学びをつなごう」によって、各学年の学習が統合され、学習内容を総合的に身に付けることができるように配慮されている。	単元初めの既習事項の確認や学年末の次学年の学習紹介により、学習のつながりや興味・関心の持続に配慮されている。	「思い出してみよう」や「読み物」を設定し、既習事項や実社会、実生活との関連が図られるように配慮されている。	「学習のつながり」や「学んだこと」を設定し、既習事項や他学年の内容との関連が図られるように配慮されている。	「はってん」を設定し、学習したことをもとに興味・関心をもって学習を広げることができるように配慮されている。	「算数のまど」による算数科との関連や「地域資料集」による地域との関連が図られるように配慮されている。
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	巻頭で学習の進め方を確認し、学年の系統性を踏まえ、各単元では解決の過程を示すことで、見通しをもって取り組むことができる構成となっている。	巻頭で学習の進め方を確認し、各単元では、予想、計画、実験、分かったことを強調し、解決の見通しをもつことができる構成となっている。	巻頭で学習の進め方を確認し、各単元では解決の過程を紙面の端に明示することで、見通しをもって取り組むことができる構成となっている。	巻頭で学習の進め方を確認し、各単元の初めに学習内容の関連を捉えさせ、見通しをもって取り組むことができる構成となっている。	1年間の学習の見通しをもたせ、各単元の初めに課題や観察・実験の視点を示すとともに、その方法や結果を写真で示す構成となっている。	巻頭で学習の進め方を確認するとともに、各単元では、問題、計画、観察・実験、結果、考察に配慮し、解決の過程を大切に構成となっている。
	2 反復練習など、基礎的な内容を定着させるための配慮について	単元末に「たしかめよう」を設け、学習の振り返りができるように配慮されている。	単元末に「確かめよう」を設け、学習の振り返りができるように配慮されている。	単元末に「ふりかえってみよう」を設け、学習の振り返りができるように配慮されている。	単元末にまとめと運動した「確かめ」を設け、学習の振り返りができるように配慮されている。	単元末に「まとめてみよう」を設け、学習の振り返りができるように配慮されている。	単元末の「たしかめよう」や別冊で学習の振り返りができるように配慮されている。

調査票1	種目名 (理科)							
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	大日本 (4)	学図 (11)	教出 (17)	信教 (26)	啓林館 (61)	
2 組織 配列 分量	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	生物単元では季節を考慮した配列と代替教材を用いることで利用し易いように配慮されている。	生物単元では季節に配慮した配列で、植物の成長の理解を促すように配慮されている。	生物単元では寒冷地を考慮した栽培計画や素材を用いることで、利用し易いように配慮されている。	生物単元では季節を考慮した配列と代替教材を用いることで、利用し易いように配慮されている。	生物単元では身近な植物や動物を複数示すことで、興味・関心を高めるように配慮されている。	生物単元では季節を考慮した配列と地域に応じた教材を用い、利用し易いように配慮されている。
	4	内容と分量のバランスについて	問題解決の能力を重視した内容で、B区分の分量が充実しているとともに、資料や前学年との学びのつながりが充実している。	問題解決の能力を重視した内容であり、B区分の分量が充実しているとともに、中学校へつながる内容が充実している。	問題解決の能力を重視した内容であり、B区分の分量が充実しているとともに、仕事や生活に生かす防災の視点が充実している。	問題解決の能力を重視した内容で、B区分の分量が充実しているとともに、視点を与え、結果を整理する活動が充実している。	問題解決の能力を重視した内容であり、B区分の分量が充実しているとともに、絵や図を用いたまとめの例が充実している。	問題解決の能力を重視した内容であり、B区分の分量が充実しているとともに、学習内容を活用するものづくりが充実している。
3 使用上の 配慮や工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	難しい漢字にはふりがなをふり、結果と考えることの視点を示すなど、児童が取り組み易いよう配慮されている。	難しい漢字にはふりがなをふり、「調べること」や「わかったこと」を示すことで、児童が取り組み易いよう配慮されている。	難しい漢字にはふりがなをふり、問題や課題、まとめ等の書体を変えることで、児童が読み易いように配慮されている。	難しい漢字にはふりがなをふり、まとめの文章を背景色で強調することで、児童が読み易いように配慮されている。	難しい漢字にはふりがなをふり、実験の手順について常体の文で端的に表現することで、分かり易いように配慮されている。	難しい漢字にはふりがなをふり、考察の文章に下線を引き強調することで、児童が読み取り易いように配慮されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	学習の過程を紙面左端に強調表示し、線で結ぶことで、一目で分かるように工夫されている。	学習の過程を示すマークや吹き出しの解説を用い、一目で分かるように工夫されている。	科学的な言葉を強調する等、紙面の端に見やすく表示し、一目で分かるように工夫されている。	実物の大きさの図版を効果的に用いることで、理解が図られるように工夫されている。	科学的な言葉を強調し、操作や結果等を写真で示すことで、一目で分かるように工夫されている。	科学的な言葉を太字で表記し、下線をつけて強調する等、一目で分かるように工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	巻頭、裏表紙に目次を配し、単元の内容を連想させる写真を掲載しているとともに、前学年とつながるように工夫されている。	目次に各単元の内容を連想させる写真を掲載するとともに、調べ方や使い方が検索し易いように工夫されている。	巻頭、裏表紙に目次を配し、当該学年で栽培する植物や器具の使い方、調べ方などが検索し易いように工夫されている。	目次に既習事項を示し、当該学年の学習との関連を図るとともに、器具の使い方、調べ方の索引を設けるなど工夫されている。	目次では、単元番号をA、B区分で色分けして表記したり、器具の使い方の索引を設けたりする等工夫されている。	目次に、器具の使い方や観察の仕方、ものづくりなどの索引を設けることで、検索し易いように工夫されている。
	総合 所見		児童が主体的に問題を見だし、見通しをもって観察・実験を行い、問題解決の能力が育まれるように配慮されている。	生活経験や学習経験をもとに予想をすることで、見通しをもって観察・実験を行うことができるように配慮されている。	視点を明確にしたうえで、予想や考察を行わせることで、科学的な見方や考え方が深まるように配慮されている。	学習のつながりを大切に、学習した知識や技能を繰り返し用いることで、理解が深まるように配慮されている。	身近な自然や身の回りの事象から問題を見だし、追究する過程を通して、理解が深まるように配慮されている。	学習内容と実生活等のかかわりを扱うことで、理科を学ぶことの有用性を感じることができるよう配慮されている。

調査票 1		種目名 (生活)				
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	大日本 (4)	学図 (11)	教出 (17)	信教 (26)
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	活動中に行う挨拶や話し方、通学路の安全な歩き方について、絵や写真等から気付くことができるよう工夫されている。	通学路の安全や、危険から身を守るために多くの人に関わっていることに気付くことができるよう工夫されている。	通学路の安全面への配慮や、学校探検での約束事等について、絵や写真から気付くことができるよう工夫されている。	友達とのかかわり方や校内外の安全への配慮事項等について、絵や写真から気付くことができるよう工夫されている。	登校時の挨拶や安全面への配慮、活動を行う際の安全について、絵や写真から気付くことができるよう工夫されている。
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	活動の記録をカードで表現し、活動の深まりに合わせて表現を工夫できるよう配慮されている。	体験の中で生じた思考や気付きを、多様な表現方法で記録できるよう配慮されている。	大きな記録カードを掲載し、記録のポイントについて分かり易く伝わるよう配慮されている。	記録カードや計画カードの例を数多く示し、児童が主体的に表現できるよう配慮されている。	活動の記録が多様な方法で行われ、活動が進むにつれ詳しく記述できるよう配慮されている。
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	興味を引くようなダイナミックな写真や図を使い、意欲的な活動を促すよう工夫されている。	大きな写真で興味関心を高め、気付きを促し、より意欲的な活動ができるよう工夫されている。	活動に期待をもつような写真や言葉が随所に見られ、意欲的な活動を促すよう工夫されている。	表情豊かな児童や生き物の写真を掲載し、意欲的な活動を促すよう工夫されている。	身近な素材から活動がスタートし、ストーリー性をもたせた展開ができるよう工夫されている。
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	活動や体験で生じた気付きを、交流を通して再確認させ、気付きの質がさらに高まるよう工夫されている。	活動の中で生じた気付きを、話し合い活動で交流し、表現するための手立てを例示するよう工夫されている。	体験を通して得られた気付きをカードに書き、それをもとに交流する活動を位置付けるよう工夫されている。	交流の範囲をグループ、学級と広げる体験を通して得られた気付きを広め、深められるよう工夫されている。	活動や身の回りの素材からの気付きを、学級、グループで交流し、次の活動に連続していくよう工夫されている。
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	入門期の風やゴム、磁石で遊ぶ体験を盛り込んだ単元等、幼小連携や他の教科との関連が図られるよう工夫されている。	風や木の実で遊ぶ単元では理科・図工と、絵地図を扱う単元等では、社会と関連が図られるよう工夫されている。	風やゴムを意識した遊びがいくつも紹介されており、3年生の理科「風とゴム」と関連が図られるよう工夫されている。	他の教科や領域と関連のあるページには、教科関連マークが示されており、関連が一目で分かるよう工夫されている。	聞き取りの方法、活動で発見した内容を地図で表す方法等、国語や社会に発展できるよう工夫されている。
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連について	上下巻ともに季節を意識した単元配列で、四季を通して対象に繰り返しかかわることができるよう工夫されている。	上巻は自分とのかかわりを、下巻は対象とのかかわりを中心に、単元の展開ができるよう工夫されている。	上巻は学校生活、下巻は地域での生活に重点をおき、児童の生活の対象が広がっていくよう工夫されている。	上巻は体験活動、下巻は計画、試行錯誤を中心に構成され、発達段階に合わせた展開ができるよう工夫されている。	地域素材を重視し、児童の生活圏を中心に据えた構成で、季節に沿った展開ができるよう工夫されている。
	2 反復練習等、基礎的基本的な内容を定着させるための配慮について	巻末の「べんりてちょう」やページ右上の「やくそく」の活用等で、習慣や技能の習得を促すよう配慮されている。	巻末の「かくしゅうどうぐばこ」で、図鑑や資料を示し、活動を通ず中で繰り返し活用できるよう配慮されている。	巻末の「学びかたずかん」で、話す、聞く、見る等の基本的な態度が示され繰り返し活用できるよう配慮されている。	巻末の「ぐんぐんポケット」で、挨拶や道具の使い方等をまとめて位置付け、繰り返し活用できるよう配慮されている。	遊びの発展や、地域の素材を継続して探す活動で、児童が対象に繰り返しかかわることができるよう配慮されている。

調査票1		種目名 (生活)				
観点	項目・発行者名(番号)	光村 (38)	啓林館 (61)	日文 (116)	()	()
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	安全上の注意や衛生上の配慮等、活動の様子を表す絵や写真、資料から気付くことができるよう工夫されている。	挨拶や人との接し方、インタビューの仕方を、本文と関連付けた資料により気付くことができるよう工夫されている。	挨拶や入室の際の礼儀の具体的な内容について、吹き出しや絵から気付くことができるよう工夫されている。		
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	単元を通して活動を記録するカードを用い、気付きをつなげたり広げたりできるよう配慮されている。	記録カードの様式が定位置に掲載され、児童が自分の気付きの表現に生かせるよう配慮されている。	記録カードや気付いたこと、調べたことの発表例が示され、表現力をつけるよう配慮されている。		
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	意欲を喚起するような写真と呼びかけで、児童の主体的な活動を促すよう工夫されている。	単元構成でストーリーを明確にし、単元を通して活動が深められるよう工夫されている。	諸感覚を使って対象とかわる写真が数多くあり、意欲的な活動を促すよう工夫されている。		
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	会話例や発表例を示したり、必然性のある場を設定したりして双方向的な交流活動ができるよう工夫されている。	体験を通して得られた気付きについて、お互いの気付きを認め合う交流活動ができるよう工夫されている。	体験から得られた気付きを交流する例がいくつも示されており、次の活動や体験へ発展できるよう工夫されている。		
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	歌づくりで音楽と合科的な学習、栽培で理科と関連的な学習等、他の教科と関連を図るよう工夫されている。	国語の絵本やカルタ作り、算数の数の表し方等、他の教科との関連を生かして表現できるよう工夫されている。	種の数や数を数えたり、生き物についての話し合い活動を位置付ける等、算数や特別活動との関連が図れるよう工夫されている。		
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	ホップ、ステップ、ジャンプの3段階構成で、児童の思考の流れに沿った主体的な活動を促すよう工夫されている。	上巻は学校と生活、下巻は地域と生活をテーマに構成され、児童の直接体験を一層重視するよう工夫されている。	児童がかかわる対象が上巻では友達や先生、下巻では地域の人々と、活動とともに広がっていくよう工夫されている。		
	2 反復練習等、基礎的基本的な内容を定着させるための配慮について	単元末や巻末に関連資料を設定し、児童が意欲的に繰り返し対象とかかわりながら、活用できるよう配慮されている。	別冊の「たんけんブック」との関連を明記し、児童の求めに応じて何度も効果的に活用できるよう配慮されている。	巻末の「なんでもずかん」で話し方、伝え方、まとめ方等、基本的な内容が定着できるよう配慮されている。		

調査票 1	種目名 (生活)						
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	大日本 (4)	学図 (11)	教出 (17)	信教 (26)	
2 組織 配列 分量	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	四季を通した公園のイラストや取扱う生き物、野菜の種類等、地域の実情に合うよう配慮されている。	季節とくらしや行事とかわる場面を取り上げ、各地域の特色を紹介するよう配慮されている。	四季の変化や、季節の行事の写真を取り上げ、地域や生活と関連付けられるよう配慮されている。	各地の行事の紹介や定点観測の四季のイラスト等、季節や地域と関連付けられるよう配慮されている。	上下巻ともに地域の四季を扱い、さらに上巻では季節の行事を小単位として扱えるよう配慮されている。
	4	内容と分量のバランスについて	上巻は生活圏を軸に、下巻は身近な地域社会とのかかわりを軸に活動が展開できよう配慮されている。	季節に沿った大単元構成で、9つの学習内容を学校の実情に応じて指導できよう配慮されている。	上下巻ともに1年間を5つの大単元で構成し、それぞれ内容の分量も偏りがないうよう配慮されている。	上巻は季節、下巻は探検を中心に構成し、学校や季節に合わせて活動できよう配慮されている。	上巻は16、下巻は13の小単元で構成し、地域、季節に合った指導が行われるよう配慮されている。
3 使用上の 配慮や工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	上下巻とも主人公がつぶやいたり、語り掛けたりする言葉から活動の内容が伝わるよう配慮されている。	吹き出しを用いて、児童のつぶやきや思いが伝わるような文章表現が用いられるよう配慮されている。	各活動中の児童のつぶやきや動きが、随所に位置付けられ、活動に生かせるよう配慮されている。	児童や教師、キャラクターのつぶやきから、単元の流れや活動が価値付けられるよう配慮されている。	主人公の意識や感情が伝わる吹き出しや詩、作文等が示され、表現に用いられるよう配慮されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	読み易い字体を配し、イラストは淡い色調で、落ち着いた学習できよう配慮されている。	仕掛けや写真のページを用いて児童に活動の視点が明確に伝わるよう配慮されている。	統一感のある図や生き生きとした表情の写真で、活動への意欲を高めるよう配慮されている。	読み易い字体で、登場人物やキャラクターの言葉が位置付けられるよう配慮されている。	見出し、イラスト、写真、吹き出し等がバランス良く位置付けられるよう配慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	資料のページや安全、注意のマーク等、両巻共通して位置付け、使い易いよう配慮されている。	上下巻とも見開きの右上部に課題を提示し、ページの意図が伝わり易いよう配慮されている。	5つの大単元と季節の関連が分かる目次がある等、使い易いよう配慮されている。	活動上必要なヒントが分かり易い言葉で示され、児童の気付きを促すよう配慮されている。	単元の内容によって目次や見出しにマークがあり、活動し易いよう配慮されている。
	総合所見		大きな写真やイラストで単元が導入され、学習意欲や知的好奇心が喚起されるよう工夫されている。また、交流や表現活動から児童の思考を促し気付きを高めるよう配慮されている。	折り込みやシート等の仕掛けや写真により、意欲的に対象とかわることができよう工夫されている。また、カードの例示の観点等で自分のよさに気付くよう配慮されている。	大きな折り込みページやイラストから単元の視点へ導くよう工夫されている。また、各単元で活動の手助けとなるページを設定し、活動を深められるよう配慮されている。	記録カードの例が数多く示され、絵や言葉からも表現への意欲が高まるよう工夫されている。また、気付きを交流する場面を意図的に設定し、気付きの質が高まるよう配慮されている。	地域の実情や素材を取り入れ、児童が活動するきっかけとなる内容を位置付けるよう工夫されている。また、活動の際に気付いた内容を学級・家庭で広げられるよう配慮されている。

調査票 1	種目名 (生活)		光村 (38)	啓林館 (61)	日文 (116)	()	()	
2 組織 配列 分量	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	季節と生き物や自然環境とのつながりをもたせ、地域の実情に応じた学習ができるよう配慮されている。	地域の実情に応じた季節の変化や特産物等を取り上げ、学習を深めることができるよう配慮されている。	四季の公園の変化や各地域の行事の写真を取り上げ、地域と関連付けられるよう配慮されている。			
		4	内容と分量のバランスについて	上巻、下巻ともに活動ごとに単元を構成し、時期や期間を柔軟に設定できるよう配慮されている。	上巻、下巻は季節の移り変わりをベースに構成され、実態に応じて活動できるよう配慮されている。	上巻、下巻を通じて人や自然とかかわる場面を多く設定し、繰り返し活動できるよう配慮されている。		
3 使用上の 配慮や工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	各ページの吹き出しの内容から、絵や写真の意図が児童に分かり易く伝わるよう配慮されている。	児童が吹き出しから単元全体を通しての活動を見通したり、振り返ったりできるよう配慮されている。	単元最初のリード文をはじめ、数多くの児童のつぶやきを生かし、活動を促すよう配慮されている。			
		2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	平易な言葉、見やすいイラストや写真等、児童の目線で見られるよう配慮されている。	イラストでは必要な情報を絞り掲載することで、児童が活用し易いよう配慮されている。	単元初めの言葉が具体的なものが多く、実際の活動がイメージし易いよう配慮されている。		
		3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	安全や発展内容などの見出しが各単元に共通して位置付けられるよう配慮されている。	各単元の関連する内容において図鑑への索引が明示されており、活用できるよう配慮されている。	安全面やマナー、活動のアドバイス等を色分けしたマークで分かるよう配慮されている。		
	総合 所見		児童の思考の流れを大切に「導入・展開・発展」の連続性を出すよう工夫されている。また、驚きや共感の言葉を多く取り入れ、活動への意欲につながるよう配慮されている。	技能、表現、方法などが別冊としてまとめてあり、教科書と併用できるよう工夫されている。また、児童が関心と意欲をもって活動に取り組み、理解を深められるよう配慮されている。	各ページに活動に期待をもたせるような文言が入るよう工夫されている。また、カード、作品等多様な例が示され、児童や教師が活動に合った選択ができるよう配慮されている。			

調査票 1		種目名 (音楽)				
観点	項目・発行者名 (番号)	教出 (17)	教芸 (27)	()	()	()
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	共通事項を核として題材を構成し、前半に基礎となる学習の題材を配置し、後半の題材でその内容が活用できるよう段階的に内容が構成されている。また、各学年で継続的に基礎的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	共通事項を核として系統的な題材を構成し、題材に即した教材を配置して学習が積み重なり、発展的に学習が進められるように内容が構成されている。また、6年間を通して基礎的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。			
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	前半の基礎となる題材で習得した力を、後半の題材で活用し、音楽のもつよさや面白さを感じていくことで、一人一人の思いや意図を生かした音楽表現につながるよう学習内容の構成が工夫されている。	題材内のそれぞれの分野で学習した内容が、関連したり、発展したりしながらつながり、深まっていくことで、一人一人の思いや意図を生かした音楽表現につながるよう学習内容の構成が工夫されている。			
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	児童の実態に応じた多様な学習ができるよう工夫されている。また、写真や透明シート、折り込みページの提示により、児童の興味・関心を喚起し、主体的な学習の充実につながるよう工夫されている。	歌唱・器楽・鑑賞と関連させて音楽づくりが無理なく学習できるよう配置されている。また、児童が個々に選択したり協働したりする活動を位置付け、主体的な学習の充実が図られよう工夫されている。			
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	教科目標や学年目標に合った内容で題材が構成されている。音楽への興味・関心をもたせながら聴き取り感じ取ったことを言葉で表す学習を充実させるように工夫されている。	教科目標や学年目標に合わせ、発達段階に配慮して題材が構成されている。また、理由や根拠をもとにして話し合いながら、音楽的な感受を充実させるように工夫されている。			
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	国内外で活躍している音楽家のメッセージや被災地での様々な音楽活動の紹介等、道徳や特別活動との関連が図られている。	感性や心の育成につながる選曲や、協働学習する意欲や態度を育成する配慮等、道徳や特別活動との関連が図られている。			
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	前半に音楽表現や鑑賞の基礎的な能力を身に付ける学習の題材、後半に前半で身に付けた能力を活用し、一人一人の思いや意図を生かした音楽表現を目指す題材が配列されている。	年間を通して、題材の目標が明確に位置付き、系統的にバランスよく配列されている。また、前の学年の学習が次の学年の学習につながるよう配慮して配列されている。			
	2 反復練習など、基礎的な内容を定着させるための配慮について	「学習の振り返り」により、確認するとともに、書き込みながら学習することで定着が図られるよう配慮されている。	繰り返し学習し定着が図られるよう配置され、系統的に学習内容を身に付けることができるよう配慮されている。			

調査票 1	種目名 (音楽)					
観点	項目・発行者名 (番号)	教出 (17)	教芸 (27)	()	()	()
2 組織 配列 分量	3 季節、社会的行事等、地域の 実情との関連付けについて	郷土芸能ではさんざ踊りの太鼓や、全国の四季の祭りが見開きで取り上げられている。また、震災後の音楽を通じた活動の紹介や復興を願ってつくられた「花は咲く」が歌唱教材として取り上げられている。	郷土芸能ではさんざ踊り等、全国各地の祭りが日本地図に分かり易く示されている。また、震災を期に被災地等で多く歌われるようになった「あすという日が」が歌唱教材として取り上げられている。			
	4 内容と分量のバランスについて	学習内容に対する教材が豊富に配列され、学校の実態に応じて選択しながら学習が深められるように構成されている。	学習内容に対する教材が題材に即して段階的に学習できるよう配列され、系統的に学習が深められるように構成されている。			
3 使用上の 配慮や工夫	1 分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	児童が理解しやすい言葉や、「活動のポイント」のアドバイスにより、活動のイメージがもてるように分かり易く説明されている。	吹き出し等による学習のアドバイスやヒント、具体的手立てが示され、活動のイメージがもてるように分かり易く説明されている。			
	2 分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	写真や両開きのページ、イラストや解説資料等を豊富に提示することにより、児童が学習する際にイメージを喚起できるように配慮されている。	楽譜、歌詞、記号等を色や形で見やすく提示することや、キャラクターの吹き出しで話しかけるよう表すこと等、分かり易さに配慮されている。			
	3 目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	マークによる振り返りや関連ページを凡例で表す等して、目次が分かり易く示されている。	年間をとおした題材構成や学習内容が把握できるよう、目次が分かり易く示されている。			
	総合所見	習得、活用の二段階で題材が構成され、基礎となる学習をもとに多様な音楽の学習が広がるように配慮されている。また、ダイナミックな写真や透明シート、折り込みページ等でイメージを喚起し、児童が思いや意図をもって表現や鑑賞の学習ができるように工夫されている。	題材と教材の配列、学習のねらいが明確に位置付いて構成され、学習内容が系統的、発展的に学べるよう配慮されている。また、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の各分野において関連を図りながら、知識及び技能と音楽的な感受の育成が図られるように工夫されている。			

調査票1		種目名 (図画工作)		()	()	()
観点	項目・発行者名(番号)	開隆堂 (9)	日文 (116)	()	()	()
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	巻末資料に用具や、その技法等について、発達段階に応じて示すとともに、各下巻に繰り返し用具の扱い方を取り上げる等、基礎的な知識や技能の習得が図られるよう配慮されている。	学年に応じた材料や用具の取り扱いについて、詳しく示すとともに、大きな図版や写真を用いて分かり易く示す等、基礎的な知識や技能の習得が図られるよう配慮されている。			
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	表現の過程における工夫の例を写真で示し「あなたなら、どう表しますか」と問いかけるとともに、囲みに材料やつくり方の工夫等を示し、思考力や判断力を育む工夫がみられる。	活動写真と児童の言葉で具体的な場面における思考を示すとともに、吹き出しに表現を工夫するうえでのヒントや、鑑賞の視点を示すことで、思考力や表現力を育む工夫がみられる。			
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	学習意欲が高まるようなリード文や、つくり方を示した囲みを提示するとともに、各題材に様々な作品例を掲載し、主体的に学習に取り組む態度が養われるよう配慮されている。	意欲を高める新しい題材や、リード文に発想や構想のきっかけとなるような言葉を提示するとともに、仕組みやつくり方を示し、主体的に取り組む態度が養われるよう配慮されている。			
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	各題材に一文で学習目標を示すとともに、関連した自己評価の観点を提示し、それを手掛かりに学習を深められるよう配慮されている。また、充実した鑑賞資料と鑑賞の視点を示すことで言語活動が促され、学習が深まるよう配慮されている。	各題材に評価の観点に即した学習目標を示すとともに、下線を引いて重点を示し、児童が目標を意識しながら学習を深められるよう配慮されている。また、児童の言葉を掲載し、その言葉をヒントに重点に係る言語活動が促され、学習が深まるよう配慮されている。			
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	伝統文化の紹介や地域や自然素材を活用した題材等、生活科や総合的な学習の時間との関連が図られている。また、夢や希望の実現に係る作家の言葉が掲載され、キャリア教育との関連においても配慮がみられる。	物語の絵等、国語科との関連を図った題材設定や道徳との関連を表す道徳マーク等、教科・領域との関連が図られている。また、美術科とのつながりを意図した題材もあり、小・中連携においても配慮がみられる。			
2 組織配分量	1 全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連について	育てたい力を視点に題材を構成するとともに、身近な材料を繰り返し各学年の題材で扱い、表現の能力が育まれるよう工夫されている。	題材を系統的に配列するとともに、身近な材料を発達段階に即して発展的に各学年で扱い、表現の能力が育まれるよう工夫されている。			
	2 反復練習など、基礎的な内容を定着させるための配慮について	各題材内につくり方や材料・用具の扱い方を提示し、基礎的な知識や技能が定着されるよう配慮されている。	各題材で扱う技法等を巻末資料等で詳しく解説し、基礎的な知識や技能が定着されるよう配慮されている。			

調査票1	種目名 (図画工作)					
観点	項目・発行者名(番号)	開隆堂 (9)	日文 (116)	()	()	()
2 組織 配列 分量	3 季節、社会的行事等、地域 の実情との関連付けにつ いて	身近な社会や地域との関 連を「みんなのギャラ リー」等で提示し、自分た ちの地域の造形活動や伝統 文化に目が向くよう配慮さ れている。	身近な地域や美術館との 関連を「ぞうけいのもり」 等で提示し、自分たちの地 域の伝統工芸や造形物に目 が向くよう配慮されている。			
	4 内容と分量のバランスにつ いて	題材を数多く設定すると ともに、選択可能な題材を 段階的に提示し、弾力的に 指導計画が編成できるよう 配慮されている。	各分野の題材がバランス よく発達段階に即した適切 な分量で設定され、無理な く指導計画が編成できるよ う配慮されている。			
3 使用上の 配慮や工 夫	1 分かり易さに配慮した語句 や文章による表現について	作品に対する思いや工夫 について、短い文章で掲載 し、様々な作品について理 解を深められるよう配慮さ れている。	作品に対する思いや工夫 について、児童の言葉によ る詳しい説明を掲載し、表 現意図等を深く読み取れる よう配慮されている。			
	2 分かり易さに配慮した文 字、記号、単位、挿絵、図 版、写真等の表記について	大判化した紙面により、 作品や活動の写真を大きく 掲載することで、学習の流 れや表現上の工夫等が捉え 易くなるよう配慮されてい る。	各題材を見開きのレイア ウトで統一し、活動と作品 の写真を工夫して提示す ることで、表現段階ごとのポ イントが捉え易くなるよう に配慮されている。			
	3 目次、索引、注、凡例、譜 表、出典等の使い易さへの 配慮について	「指マーク」を用いて、 各題材で扱う技法などに 関連するページを示し、児童 がその技法について巻末資 料を参照し易いように配慮 されている。	各題材で使用する用具に ついて、記号化されたマー クを用いて示し、表現にお ける用具の活用について児 童が見通せるように配慮さ れている。			
総合 所見		児童の鑑賞活動の様子を 提示し、その言葉を手掛か りに鑑賞の視点を示すとと もに、感性に働きかける鑑 賞教材を豊富に提示し、鑑 賞の能力が育まれるよう配 慮されている。また、各題 材に育てたい力と関連した 「ふりかえり」を提示した り、表現の過程における工 夫の詳細な写真例や題材ご とに材料や作り方の工夫 等を示したりすることで、 児童が主体的に取り組み、 基礎的な能力を培うことが できるよう配慮されてい る。	児童の表現意欲を喚起す る新しい題材や既習事項を 生かして発展的に取り組め る題材を発達段階に即して 設定し、表現の能力が育ま れるよう配慮されている。 また、各題材に4観点で学 習目標を示すとともに、児 童の姿や言葉を学習目標に 関連させて示したり、思考 を促すリード文や表現の工 夫・鑑賞の視点を示したヒ ントを提示したりすること で、発想や構想の能力を高 め、つくりだす喜びを味わ うことができるよう配慮さ れている。			

調査票1		種目名 (家庭)				
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	開隆堂 (9)	()	()	()
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	作業の手元を拡大した写真や根拠が明確となるような資料により、基礎的な知識の理解や技能の習得を図るよう工夫されている。	作業手順を明確に示した写真や根拠を示す豊富な資料により、基礎的な知識の理解や技能の習得を図るよう工夫されている。			
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	家庭生活における個々の課題について、発展的な学習として3つのステップで取り組めるように工夫されている。	習得した知識及び技能を発展的な学習につなげ、個々の家庭生活において取り組めるように工夫されている。			
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	学習の仕方について、3つのステップで示し、主体的に学べるように工夫されている。	身近な学校生活から課題を見つけるように構成し、主体的に学べるように工夫されている。			
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	観察や実習にかかわる具体的なワークシート例や話し合いの場の設定等、言語活動の充実が図られるように工夫されている。	生活に関連深い様々な言葉の説明が実感を伴った理解につながり、用いられる言語が豊かになるように工夫されている。			
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	仕事に携わる人々の思いに触れることにより、キャリア教育と関連付けるように工夫されている。	食中毒、食物アレルギー等にも触れ、安全面の教育と関連付けるように工夫されている。			
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	基礎的なものから応用的なものへ、簡単なものから難しいものへと段階的に題材が配列されている。	同じ調理技能を繰り返しながら、系統的に学ぶことができるように題材が配列されている。			
	2 反復練習等、基礎的基本的な内容を定着させるための配慮について	学習内容を振り返りながら、達成状況をチェックすることで内容の定着を図るよう配慮されている。	同類の内容を2学年に分けて配列し、繰り返し学習しながら内容の定着を図るよう配慮されている。			

調査票1	種目名 (家庭)		東書 (2)	開隆堂 (9)	()	()	()
2 組織 配列 分量		3 季節、社会的行事等、地域の 実情との関連付けについて	郷土の食材や料理、地域の 気候等の豊富な資料によ り、地域の実態に合わせた 指導ができるように配慮さ れている。	地域の食文化に触れる資 料や地域の特産物の例示に より、地域の実態に合わせ た指導ができるように配慮 されている。			
		4 内容と分量のバランスにつ いて	児童が取り組みやすい活 動例や実習例が豊富に示さ れ、偏りなく配分されてい る。	題材を細分化し、スモー ルステップで学習が積み上 げられるように配分されて いる。			
3 使用上の 配慮や工 夫		1 分かり易さに配慮した語句 や文章による表現について	文章表現を簡潔にし、基 礎的基本的な内容につい て、分かり易く解説してい る。	文章が詳しく丁寧であ り、基礎的基本的な内容に ついて、分かり易く解説し ている。			
		2 分かり易さに配慮した文 字、記号、単位、挿絵、図 版、写真等の表記について	左利きの児童に配慮した 写真や作業の確認がしやす い拡大写真が巻末に示され ている。	作業時の正しい姿勢の全 身写真や実物が捉え易いよ うな写真が豊富に示されて いる。			
		3 目次、索引、注、凡例、譜 表、出典等の使い易さへの 配慮について	基礎技能について、つめ 見出しにより、使い易くし ている。	学習内容を色分けしたつ め見出しにより、使い易く している。			
	総合 所見		学習活動が3つのステッ プで明示され、問題解決的 に学習を進めることができ るように全題材が構成され ている。また、今日的な課 題である防災教育につい て、学習内容と関連付ける ような工夫がされている。	生活の事象について理由 を追究しながら、基礎的な 知識及び技能の確実な習得 ができるよう題材が配列さ れている。また、家庭生活 に関連する言葉を生活の中 で生きた言葉となるような 工夫がされている。			

調査票1 種目名 (保健)

観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	文教社(207)	光文(208)	学研(224)
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	実験の写真や解説、補足説明を活用しながら、知識の習得が図られるよう工夫されている。	写真や解説などの資料や専門家による説明を活用しながら、知識の習得が図られるよう工夫されている。	根拠となるデータの提示や専門家による説明文を活用し、知識の習得が図られるよう工夫されている。	写真や挿絵、グラフを対比させる活動により、知識の習得が図られるよう工夫されている。	学習課題を明示し、適切な資料を活用しながら、知識の習得が図られるよう工夫されている。
	2 児童生徒が習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	課題解決のための話し合いや考えを記述する活動を取り入れ、考えを深めるよう工夫されている。	課題を明確にし、課題解決のための話し合いを設定し、考えを深めるよう工夫されている。	学習したこと活用のための記入欄を設け、身の回りの生活での取組につなげるよう工夫されている。	習得した知識を活用する方法を複数示し、自分の考えを引き出すよう工夫されている。	習得した知識をもとに、活用する学習活動を取り入れ、考えを深めるよう工夫されている。
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	自らの成長や生活について取り上げ、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。	身近な生活について調べ学習を取り入れ、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。	身近な生活の問題場面を示し、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。	今日的な健康・安全に関する課題を示し、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。	発展的な学習活動を取り入れ、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫されている。
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実からみた内容について	学習のふり返りを設定し、考えを記述することにより、実践に結び付けるよう配慮されている。	発達段階を考慮した話し合い活動を位置付け、実践に結び付けるよう配慮されている。	話し合い活動や発表の場面を位置付け、考えを深めることにより実践に結び付けるよう配慮されている。	話し合い活動や記述を取り入れることで、実践に結び付けるよう配慮されている。	話し合い活動や記述、発表の場面を位置付け、実践に結び付けるよう配慮されている。
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	脚注に関連を示す表記を明確にし、社会科や理科の内容と関連付けるよう配慮されている。	脚注に関連を示す表記を明確にし、国語科や体つくり運動と関連付けるよう配慮されている。	脚注に既習内容とのつながりを示し、下学年の学習内容と関連付けるよう配慮されている。	脚注に関連を示す表記を明確にし、家庭科の内容と関連付けるよう配慮されている。	脚注に関連を示す表記を明確にし、学年相互の学習内容を関連付けるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連について	発達段階を考慮し、学年間の学習内容が適切に関連付けられている。	発達段階を考慮し、学年間の学習内容が適切に関連付けられている。	各学年の学習内容が系統的に配列され、適切に関連付けられている。	各学年の学習内容が系統的に配列され、適切に関連付けられている。	発達段階を考慮し、学年間の学習内容が適切に関連付けられている。
	2 反復練習など、基礎的基本的な内容を定着させるための配慮について	学習内容を広げるような課題を取り上げ、基礎的基本的な内容を定着させるよう配慮されている。	学習内容に関わる新たな課題を取り上げ、基礎的基本的な内容を定着させるよう配慮されている。	学習内容を発展させる課題を取り上げ、基礎的基本的な内容を定着させるよう配慮されている。	学習内容を発展させる課題を取り上げ、基礎的基本的な内容を定着させるよう配慮されている。	学習内容を深めるような課題を取り上げ、基礎的基本的な内容を定着させるよう配慮されている。

調査票 1		種目名 (保健)				
観点	項目・発行者名 (番号)	東書 (2)	大日本 (4)	文教社 (207)	光文 (208)	学研 (224)
2 組織 配列 分量	3 季節、社会的行事等、地域の 実情との関連付けにつ いて	地域や家庭の様子につ いて振り返る活動を取り入 れ、学習課題との関連を図 るよう工夫されている。	地域の様子や活動等の現 状について調べ、学習内容 の理解を深めるよう工夫さ れている。	地域の実情について取り 上げ、話し合いや調べる活 動を通して、実践化を図る よう工夫されている。	地域の特性を考慮し、施 設や社会的行事に目を向 け、実践化を図るよう工夫 されている。	地域の様子や活動等に目 を向け、調べる活動を通し て、学習内容の理解を深め るよう工夫されている。
	4 内容と分量のバランスにつ いて	主体的に課題解決を図る 内容となっており、分量も 適切に配分されている。	単位時間に課題解決を図 る内容となっており、分量 も適切に配分されている。	主体的な学習に配慮した 内容となっており、分量も 適切に配分されている。	発達段階に応じた内容と なっており、分量も適切に 配分されている。	学習の進め方が分かり易 い内容となっており、分量 も適切に配分されている。
3 使用上の 配慮や工 夫	1 分かり易さに配慮した語句 や文章による表現について	吹き出しによる問いかけ を取り入れ、学習のポイント が簡潔に表現されている。	児童の吹き出しを活用 し、課題解決の視点が分か り易い言葉で表現されてい る。	会話を活用し、発達段 階に応じて、学習のポイン トが分かり易く表現されて いる。	発達段階に応じて、学習 のポイントが簡潔に記述さ れ、理解し易く表現されて いる。	問いや吹き出しを効果的 に取り入れ、発達段階に応 じて分かり易く表現されて いる。
	2 分かり易さに配慮した文 字、記号、単位、挿絵、図 版、写真等の表記について	学習過程を示す表示の配 色を統一し、理解し易いよ うに表記されている。	見開きの構成や挿絵、図 を効果的に配置し、見やす く表記されている。	挿絵や図、グラフを効果 的に配置し、見やすい大き さで表記されている。	資料を効果的に配置し、 視覚的に理解が図られるよ う表記されている。	学習過程を示す表示を活 用し、理解し易いように表 記されている。
	3 目次、索引、注、凡例、譜 表、出典等の使い易さへの 配慮について	見開きで目次を構成し、 学年間の系統が理解し易い よう配慮されている。	学習内容の配列、学習の 進め方、注釈の表記が見や すく配慮されている。	注釈をページ下段に配置 し、発展学習と関連付ける よう配慮されている。	巻頭で学習内容と進め方 を示し、意欲的に取り組め るよう配慮されている。	注釈をページ下段に配置 し、他ページと関連付ける よう配慮されている。
	総合所見	課題に対する考えの記述 や自己の生活を振り返る活 動を効果的に位置付け、実 生活における実践に結び付 けるよう配慮されている。	生活場面をもとに課題意 識を高める活動や発展学習 を効果的に位置付け、実生 活における実践に結び付け るよう配慮されている。	身の回りの生活場面にお ける課題についての話し合 いを効果的に位置付け、実生 活における実践に結び付け るよう配慮されている。	話し合いや知識を活用す る活動を効果的に位置付 け、実生活における実践に 結び付けるよう配慮されて いる。	自己の生活を振り返る活 動や発展学習を効果的に位 置付け、実生活における実 践に結び付けるよう配慮さ れている。